

「農業選択」(果樹) シラバス

単位数	5単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組
教科書	果樹(実教出版)	副教材等	教員作成資料(プリント等)

1 学習の到達目標

果樹の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、果樹の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

2 重点目標

- ・一年間の果樹の栽培管理を理解する。
- ・果樹(ナシ・カキ・ウメ・キウイフルーツ・ブドウ等)の生育管理技術(摘果・剪定等)の習得。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第3章 果樹栽培の基礎	1 基本となる栽培管理技術	(1) 摘蕾・開花・人工授粉 ナシの受粉・開花特性を理解する。	・樹木樹勢、生育状況を見る観察力が身に付いた。(行動観察)
5			(2) ネット張り ナシネット設置の意味を理解し、病害虫・気象災害防除の大切さを理解する。	・ネット設置の確実性と作業に対する積極的な姿勢である。(行動観察)
6		中間考査	(3) 摘果 ナシの着果特性と摘果の目的を学習し、摘果法を理解する。	・摘果の目的を理解し、幼果への観察力、摘果する果実の判断力がついた。(行動観察) ・作業に対する積極的な姿勢、集中力がある。(行動観察)
7		期末考査	(4) 病害虫防除・気象災害防止 ナシを中心とした果樹の病害虫を理解し、その防除法や防除機械等を学習する。	・各種病害虫被害を正確に判別できる。(行動観察) ・様々な環境条件によって、ナシ(果樹)への各種病害虫被害があることを理解し、その原因を科学的に判断し、防除法を実践できる。(行動観察) ・花芽分化期を理解し、果樹側枝の誘引(花芽分化促進)が実践できる。(行動観察)
9	第2章 果樹の成長と果実生産	(7) 収穫と調整	ナシの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	・実習をとおして、果実収穫に取り組む姿勢と技能を評価し、販売実習におけるコミュニケーション力を評価する。(行動観察) ・果樹の生育と栽培管理を学ぶ姿勢を評価すると共に、収穫期を迎えたナシを中心とした果実の収穫、調整作業、販売実習への取り組み状況が良好である。(行動観察)
10		(1) 各器官の成長と果実生産	果実の肥大・収穫・貯蔵・加工を学び、果樹の生理を理解すると同時に、品種による肥大や貯蔵性・加工まで理解する。	・果樹の種類と品種を理解しているか評価する。(レポート分析)

	第1章 果実の生産と利用	(1) 果実の利用と果樹栽培	果実の特性と利用法を学び、多角的な果樹の価値を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国及び世界の果樹生産の現状を理解している。(レポート分析) 統計等の資料の分析力を評価する。(ワークシート分析) 果樹生産地及び原産地を理解し、本校の立地に関する正確な知識、理解力が着いた。(レポート分析)
	第3章 果樹栽培の基礎	(1) 果樹栽培の適地	果実生産の推移と消費の動向を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 日本における果樹生産地を学習し、気候、土壌等の栽培条件を理解する。 また各果樹の原産地を学習し、果樹の基本的な生育条件を理解する。
		中間考査		
11	学園祭果樹展示	(2) 病害虫・生理障害	学園祭での発表により、自主的な学習態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 学びを中心とした果樹栽培記録のまとめ方や積極的な参加態度、リーダーシップ等を評価する。(行動分析) 病害虫防除や生理障害への学習意欲を評価すると共に、実習をとおして樹木の観察力や判断力等の科学的分析力を評価する。(行動分析)
12		期末考査	果樹の病害虫や生理障害について学び、予防法や対処法を理解する。	
1		(3) 生育と栽培管理	作物の休眠やナシ等の果樹の剪定管理を学習する。GAPの基礎的な内容について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な果樹の剪定技術の習熟度を評価する。(行動分析) 用具の知識と正しい使用法を評価する。(行動分析)
		学年末考査		

4 評価の観点

関心・意欲・態度	生産技術の仕組みや果樹生産の果たす社会的な意義や役割などについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、労働生産性や資本生産性などの向上を図る能力と態度を身に付けている。
思考・判断・表現	生産と経営の現状や今日的な課題を見だし、果樹にかかわる体験的、継続的な栽培活動を通して、観察、実験、調査、記録などの活動をし、その経過や結果を的確に表現している。
技能	実践的な生産活動と、知識の深化を図る課題解決的な学習活動などを通して、基本的、体系的な技術を習得するとともに、果樹生産などに応用できる体系的な技能を身に付けている。
知識・理解	果樹の生理・生態的な特性や生産に適した環境とそれらと生育の相互関係などの基本的な概念や各種の果樹生産、経営管理や情報管理及びフードシステムを理解し、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。 (毎時の記録簿、自己評価票、調査レポート、授業ノート、プリントの記入状況、学習に取り組む姿勢、(積極性、協調性、自発性)、出席状況)

6 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ol style="list-style-type: none"> 安全面は重要です。怪我防止の観点からも、実習服等の着用をきちんとしましょう (授業規律)。 出席状況を重視します (出席重視)。 自らよく考え、的確に判断しながら行動しましょう (的確な行動)。 ノートの提出をしましょう (提出物はきちんと記入し、提出)。
